

講義録レポート

講義録コード

04-64-1-101-01

講 座	高度共通	科目①	講義編
目標年	2016年4月合格目標	科目②	午前 I 対策
コース	本科生プラス 本科生	回 数	1 回
用 途	個別DVD ・ テープレクチャー ・ 集合ビデオ WEB ・ DVD通信 ・ 資料通信		

講師名	根岸 先生	講義録枚数	12 枚	※レポート 含まず
		補助レジュメ枚数	14 枚	サイズ (B5)
		その他	1 枚	

講義構成	前半講義 (73分) → 休憩 (10分) → 後半講義 (92分)		
使用教材	高度共通午前 I 対策合格テキスト&トレーニング P.3~P.33		
配布教材			
備考			

T A C 情報処理講座

情報処理	講義録	コース講義等	高度共通	科目	午前I対策	回数	1
------	-----	--------	------	----	-------	----	---

配布物	★テスト類 : []	★その他の配布物1 : []	★その他の配布物2 : []	講師	根岸 先生
-----	-------------	-----------------	-----------------	----	-------

黒板内容

AMI

- ・ 応用情報の AM 試験問題 30題抜粋
- ・ 60% (18題) 正解で合格
- ・ 分野 → おんべんなく 全ての分野
- ・ 得意分野 (非苦手分野) で得点する
- ・ すき間時間で (学習) → 堀りおし
- ・ 専門分野の学習 ← ×イン!
- ・ 過去問演習 ... 正解していても解説を読む

コンピュータ科学基礎

- P.3 P.3
- ・ (2進数)、情報の表現 (数値、文字、画像、音声)
 - ・ 計算量 ($O(n)$ など) → アルゴリズムの良さの評価

- P.5 P.5
- ・ オートマトン ... コンピュータの動作をモデル化
 - ・ 状態遷移図

文句解析

コンパイル作成に
必要となる技術

情報数学

集合論、確率論

(1ビット) : 情報量



おいしい ... $\frac{1}{2}$
おいしくない

情報処理 講義録	コース 講義等	高度共通	科目	午前 I 対策	回数	1
----------	---------	------	----	---------	----	---

配布物	★テスト類 : [] ★その他の配布物 1 : [] ★その他の配布物 2 : []	講師	根岸 先生
-----	---	----	-------

黒板 内 容

P.8 P.8 アルゴリズム、データ構造

- ・代表的なアルゴリズムの特徴
 - ・ソート (選択法、交換法、挿入法、クイックソート)
 - ・探索 (線形探索、二分探索、ハッシュ)
- ・データ構造

P.14 P.14, P.9
P.9
・木 --- ヒープ、二分探索木
・リスト

P.6 P.6 時間計算量

データ数の変化に伴う処理時間の変化

ハッシュ法 $O(1)$: データ数と関係なく処理時間が一定

二分探索 $O(\log n)$: データ数 2 倍で、処理の回数が 1 回多くなる

線形探索 $O(n)$: データ数 2 倍で、処理時間も 2 倍

クイックソート $O(n \log n)$: データ数 2 倍で処理時間 2.5~3 倍くらい
10 倍 20~30 倍くらい

選択法
交換法 $O(n^2)$: データ数 2 倍で処理時間 4 倍
挿入法 10 倍 100 倍

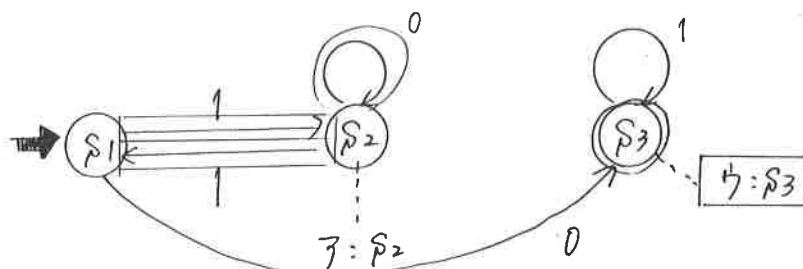
情報処理 講義録	高度共通	科目	午前 I 対策	回数	1
----------	------	----	---------	----	---

配布物	★テスト類 : []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物 1 : []		
	★その他の配布物 2 : []		

黒板内容

P.20

P.20 問 6



P.20 問 7

BNF (バックス記法) P.6

構文の解析

↓
構文規則に従っているかのチェック

<digit> ::= 0 | 1 | 2 | ... | 9
記法名称 定義値 もしくは

<digit> は 0 ~ 9 までの 10 の数字

<letter> ::= A | B | ... | Z | a | b | ... | z

<letter> は 大・小文字の英字 1 字

<identifier> ::= . <letter> | <identifier> <letter> | <identifier> <digit>
↑ 再帰定義 繰り返しを表現

情報処理 講義録	コース講義等	高度共通	科目	午前 I 対策	回数	1
----------	--------	------	----	---------	----	---

配布物	★テスト類 : []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物 1 : []		
	★その他の配布物 2 : []		

黒板内容



<letter>

<identifier> <letter>

<identifier> <digit>

<identifier>

補助
レジュメ

H27 秋 AM I

問 1

集合論

論理演算

↓

2進数に適用

AND . OR . NOT . XOR

論理積 論理和 否定 排他的論理和

A	B	AND	OR	XOR
0	0	0	0	0
0	1	0	1	1
1	0	0	1	1
1	1	1	1	0

⑧ 算術演算
加・減・乗・除

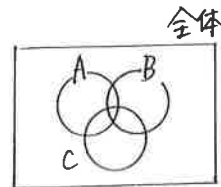
情報処理 講義録	コース講義等	高度共通	科目	午前I対策	回数	1
----------	--------	------	----	-------	----	---

配布物	★テスト類 : []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物1 : []		
	★その他の配布物2 : []		

黒板内容

$$\overline{A \cup B \cup C} = \text{空集合 (なし)}$$

OR OR



1年 A組 B組 C組

×
×
○

ドモルガン則

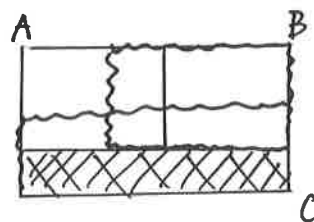
$$A \text{ AND } B = \overline{A \text{ OR } \overline{B}}$$

$$A \text{ OR } B = \overline{\overline{A} \text{ AND } \overline{B}}$$

$$\overline{A \cup B \cup C} = \overline{A} \cap \overline{B} \cap \overline{C}$$

$$A \text{ OR } B \text{ OR } C = \overline{\overline{A} \text{ AND } \overline{B} \text{ AND } \overline{C}}$$

AND
かつ
∴



情報処理 講義録	コース・講義等	高度共通	科目	午前I対策	回数	1
----------	---------	------	----	-------	----	---

配布物	★テスト類 : []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物1 : []		
	★その他の配布物2 : []		

黒板内容

問2 ・ 誤り検出 ... パリティ. CRC ... p.22 問9

↑

基本的には検出

・ 垂直パリティ

・ 水平パリティ

を組み合わせると

1ビットの誤りの訂正が可能

↑

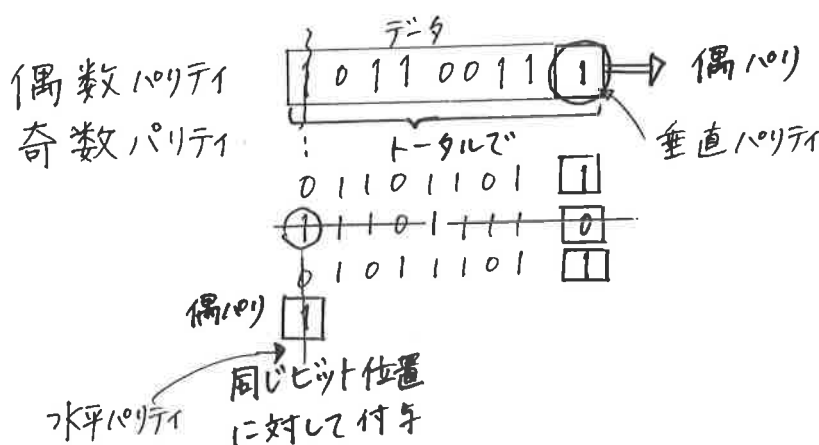
バースト誤りの検出にすぐれる

(・イーサネットフレーム
・ディスクへの記録)

↓

生成多項式で割った余りで作る

・ 誤り訂正 ... ハミング符号 ... p.24 問10



情報処理

講義録

コース講義等

高度共通

科目

午前 I 対策

回数

1

配布物

- ★ テ ス ト 類 : []
- ★ その他の配布物 1 : []
- ★ その他の配布物 2 : []

講師

根岸

先生

黒 板 内 容

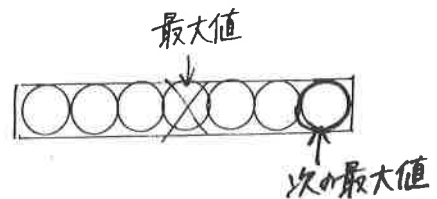
アルゴリズム

P.15

p.15 . 選択法

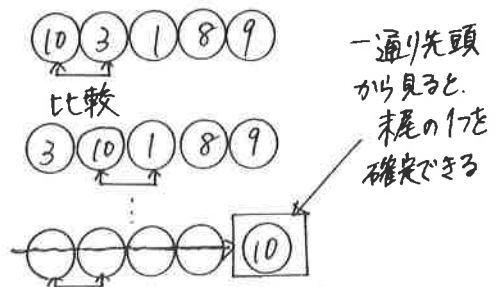
① ②

降 順



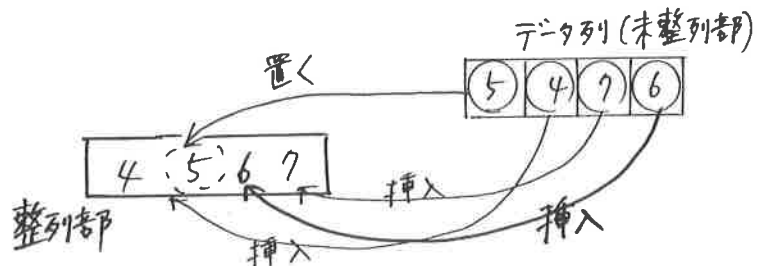
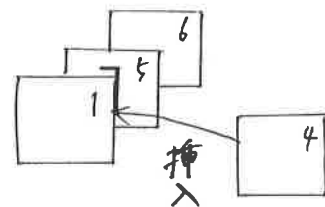
デタ列から、最大値(最小値)を順に取り出す

- ・ 交換法 (バブルソート)
- 隣りどうしを比較して、
順序関係が逆であれば
入れ替える



・ 挿入法

デタ列から1つ取り出し、
整列済の列の適切な
場所に入れる



情報処理

講義録

コース講義等

高度共通

科目

午前 I 対策

回数

1

配布物

- ★テスト類： []
 ★その他の配布物 1： []
 ★その他の配布物 2： []

講師

根岸

先生

黒板内容

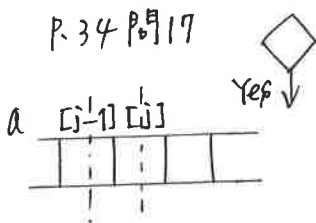
クイックソート

基準値を選び、基準値よりも大きなグループと
 小さなグループにグループ分けする
 各グループに対して、同様の操作を行う

頭
左尾
右

再帰処理を適用

P.34 問17

 $a[j-1] > a[j]$

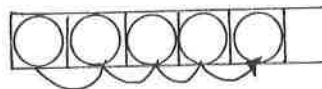
隣りどうし比較

 $a[j-1] \leftrightarrow a[j]$

入れ替え

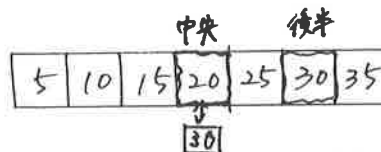
大きい値を
後ろへ移動
交換法

線形探索



- 先頭から順にデータを探す
- どのようなデータ列に対しても使える
(事前準備は不要)

二分探索 (P.12)



- データ列が整列されている時に利用できる
- 中央の値と比較して、探す値 > 中央の値 ... 後半だけ探す
 探す値 < 中央の値 ... 前半だけ探す

情報処理

講義録

コース・講義等

高度共通

科目

午前Ⅰ対策

回数

1

配布物

- ★テスト類 : []
 ★その他の配布物1 : []
 ★その他の配布物2 : []

講師

根岸

先生

黒板内容

・ ハッシュ法 (P.14)

データの **キー値**

- 社員NO
- 商品NO など...

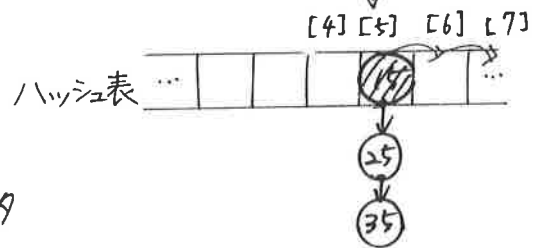
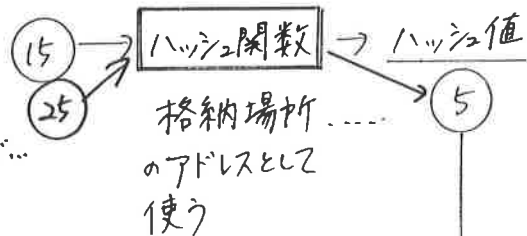
格納効率は悪い!

・ 衝突

異なるキー値に
対して同じハッシュ値
となる

・ シニム ... 衝突を起したデータ

⑬ 剰余 (割った余り)



・ オープンアドレス法

本来の格納場所から後方へ見て行き
空いている所へ置く

・ チェーン法

同じハッシュ値となるデータをリストでつながいて
管理する

情報処理 講義録	高度共通	科目	午前 I 対策	回数	1
----------	------	----	---------	----	---

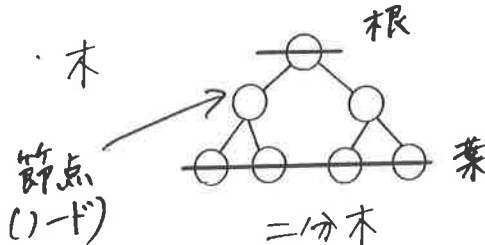
配布物	★テスト類 : []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物 1 : []		
	★その他の配布物 2 : []		

黒板内容

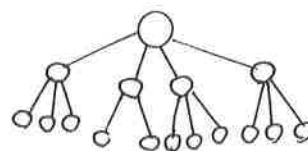
H27 秋問3

a b c d e f g h i j k l ... r ... x
 ① 1 2 3 4 5 6 7 8 11 17 23

データ構造



- ・完全二分木
- ・ヒープ
- ・二分探索木



多分木

- ↓
- B木 ... ファイルシステムでの
ファイルの管理
- ・DBでのデータの管理

情報処理

講義録

コース・講義等

高度共通

科目

午前 I 対策

回数

1

配布物

- ★ テ ス ト 類 : []
- ★ その他の配布物 1 : []
- ★ その他の配布物 2 : []

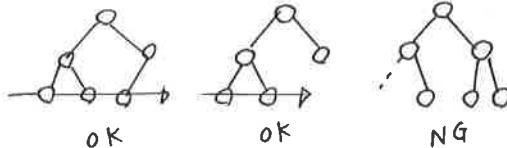
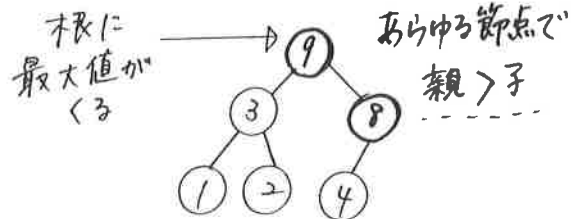
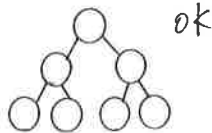
講師

根岸

先生

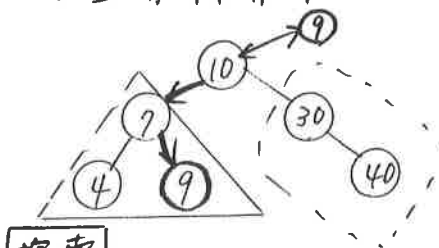
黒 板 内 容

- 完全二分木 ... 上から順 かつ 左から順に詰まっている木



- ヒープ ... 完全二分木でかつ親子間に一定の関係がある

- 二分探索木



探索

探す値の方が小さい → 左
大きい → 右
へと進む

- ノードの値 < 右側の全てのノードの値
- ノードの値 > 左側の全てのノードの値

全てのノードで成立している

情報処理 講義録

コース・講義等

高度共通

科目

午前 I 対策

回数

1

配布物

★テスト類 : []
 ★その他の配布物 1 : []
 ★その他の配布物 2 : []

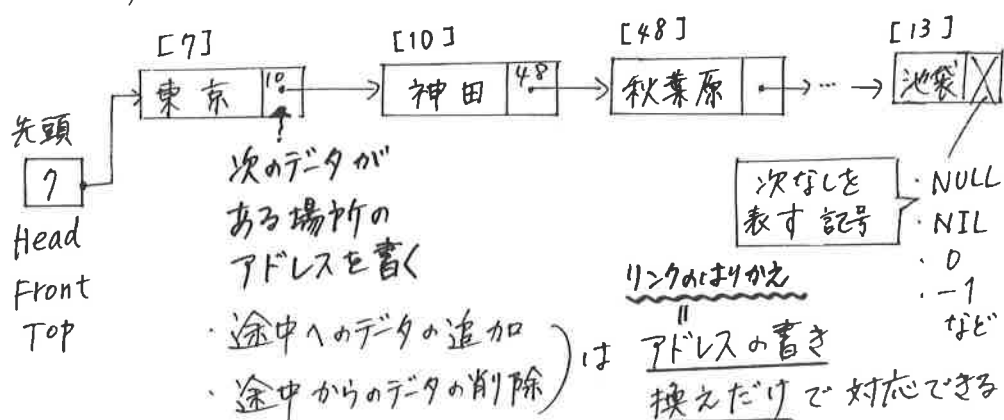
講師

根岸

先生

黒板内容

データ構造
 ・リスト (P.9)



P.26 問 12

問 13

P.32 問 15

P.30 問 14

平成 27 年度 秋期 午前 I 問題

問1 集合 A, B, C に対して $\overline{A \cup B \cup C}$ が空集合であるとき、包含関係として適切なものはどれか。ここで、 $\cup$ は和集合を、 $\cap$ は積集合を、 $\overline{X}$ は X の補集合を、また、 $X \subseteq Y$ は X が Y の部分集合であることを表す。

ア $(A \cap B) \subseteq C$ イ $(A \cap \overline{B}) \subseteq C$ ウ $(\overline{A} \cap B) \subseteq C$ エ $(\overline{A} \cap \overline{B}) \subseteq C$

問2 図のように 16 ビットのデータを 4×4 の正形状に並べ、行と列にパリティビットを付加することによって何ビットまでの誤りを訂正できるか。ここで、図の網掛け部分はパリティビットを表す。

1	0	0	0	1
0	1	1	0	0
0	0	1	0	1
1	1	0	1	1
0	0	0	1	

ア 1 イ 2 ウ 3 エ 4

問3 キーが小文字のアルファベット 1 文字 ($a, b, \dots, z$ のいずれか) であるデータを、大きさが 10 のハッシュ表に格納する。ハッシュ関数として、アルファベットの ASCII コードを 10 進表記法で表したときの 1 の位の数を用いることにする。衝突が起こるキーの組合せはどれか。ASCII コードでは、昇順に連続した 2 進数が、アルファベット順にコードとして割り当てられている。

ア a と i イ b と r ウ c と l エ d と x

問4 複数のデータに対して 1 個の命令で同一の操作を同時並列に行う方式で、マルチメディアデータなどを扱う CPU に採用されているものはどれか。

ア MIMD イ MISD ウ SIMD エ SISD

問5 クラスタリングシステムで、ノード障害が発生したときに信頼性を向上させる機能のうち、適切なものはどれか。

ア アプリケーションを代替ノードに転送して実行するためのホットプラグ機能が働く。

イ アプリケーションを再び動かすために、代替ノードを再起動する機能が働く。

ウ 障害ノードを排除して代替ノードでアプリケーションを実行させるフェールオーバー機能が働く。

エ ノード間の通信が途切れるので、クラスタの再構成を行うフェールバック機能が働く。

問6 デマンドページング方式による仮想記憶の利点はどれか。

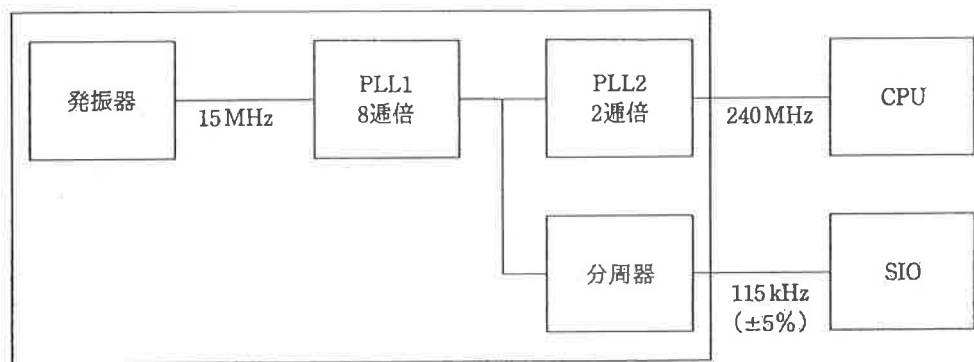
ア 実際にアクセスが行われたときにだけ主記憶にロードするので、無駄なページをロードしなくて済む。

イ 主記憶に対する仮想記憶の容量比を大きくするほど、ページフォールトの発生頻度を低くできる。

ウ プロセスが必要とするページを前もって主記憶にロードするので、補助記憶へのアクセスによる遅れを避けることができる。

エ ページフォールトの発生頻度が極端に高くなっても、必要な場合にしかページを読み込まないのでスラッシング状態を回避できる。

問7 ワンチップマイコンにおける内部クロック発生器のブロック図を示す。15 MHz の発振器と、内部の PLL1, PLL2 及び分周器の組合せで CPU に 240 MHz, シリアル通信 (SIO) に 115 kHz のクロック信号を供給する場合の分周器の値は幾らか。ここで、シリアル通信のクロック精度は $\pm 5\%$ 以内に収まればよいものとする。



- ア $1/2^4$ イ $1/2^6$ ウ $1/2^8$ エ $1/2^{10}$

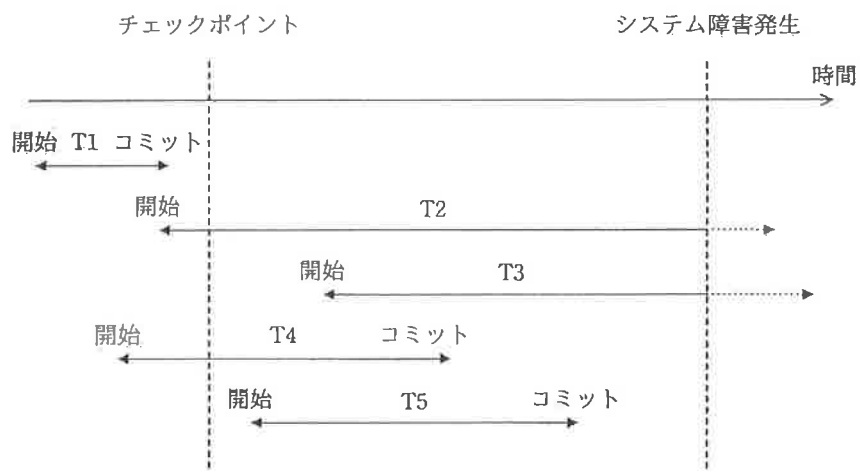
問8 コードの値からデータの対象物が連想できるものはどれか。

- | | |
|------------|-----------|
| ア シーケンスコード | イ デシマルコード |
| ウ ニモニツクコード | エ ブロックコード |

問9 デジタルハイビジョン対応のビデオカメラやワンセグの映像圧縮符号化方式として採用されているものはどれか。

- ア AC-3 イ G.729 ウ H.264/AVC エ MPEG-1

問10 チェックポイントを取得する DBMS において，図のような時間経過でシステム障害が発生した。前進復帰（ロールフォワード）によって障害回復できるトランザクションだけを全て挙げたものはどれか。



ア T1

イ T2 と T3

ウ T4 と T5

エ T5

問11 図のようなネットワーク構成のシステムにおいて、同じメッセージ長のデータをホストコンピュータとの間で送受信した場合のターンアラウンドタイムは、端末 A では 100 ミリ秒、端末 B では 820 ミリ秒であった。上り、下りのメッセージ長は同じ長さで、ホストコンピュータでの処理時間は端末 A、端末 B のどちらから利用しても同じとするとき、端末 A からホストコンピュータへの片道の伝送時間は何ミリ秒か。ここで、ターンアラウンドタイムは、端末がデータを回線に送信し始めてから応答データを受信し終わるまでの時間とし、伝送時間は回線速度だけに依存するものとする。



ア 10

イ 20

ウ 30

エ 40

問12 公開鍵暗号方式の暗号アルゴリズムはどれか。

ア AES

イ KCipher-2

ウ RSA

エ SHA-256

問13 ゼロデイ攻撃の特徴はどれか。

ア セキュリティパッチが提供される前にパッチが対象とする脆弱性を攻撃する。

イ 特定の Web サイトに対し、日時を決めて、複数台の PC から同時に攻撃する。

ウ 特定のターゲットに対し、フィッシングメールを送信して不正サイトへ誘導する。

エ 不正中継が可能なメールサーバを見つけた後、それを踏み台にチェーンメールを大量に送信する。

問14 ブルートフォース攻撃に該当するものはどれか。

- ア Web ブラウザと Web サーバの間の通信で、認証が成功してセッションが開始されているときに、Cookie などのセッション情報を盗む。
- イ 可能性がある文字のあらゆる組合せのパスワードでログインを試みる。
- ウ コンピュータへのキー入力を全て記録して外部に送信する。
- エ 盗聴者が正当な利用者のログインシーケンスをそのまま記録してサーバに送信する。

問15 ペネトレーションテストの目的はどれか。

- ア 暗号化で使用している暗号方式と鍵長が、設計仕様と一致することを確認する。
- イ 対象プログラムの入力に対する出力結果が、出力仕様と一致することを確認する。
- ウ ファイアウォールが単位時間あたりに処理できるセッション数を確認する。
- エ ファイアウォールや公開サーバに対して侵入できないかどうかを確認する。

問16 DFD におけるデータストアの性質として、適切なものはどれか。

- ア 最終的には、開発されたシステムの物理ファイルとなる。
- イ データストア自体が、データを作成したり変更したりすることがある。
- ウ データストアに入ったデータが出て行くときは、データフロー以外のものを通ることがある。
- エ 他のデータストアと直接にデータフローで結ばれることはなく、処理が介在する。

問17 共通フレームをプロジェクトに適用する場合の考え方のうち、適切なものはどれか。

ア JIS 規格に基づいているので、個々のプロジェクトの都合でアクティビティやタスクを変えずに、そのまま適用する。

イ 共通フレームで規定しているプロセスの実施順序に合わせて、作業手順を決めて適用する。

ウ 共通フレームで推奨している開発モデル、技法やツールを取捨選択して適用する。

エ プロジェクトの特性や開発モデルに合わせて、アクティビティやタスクを取捨選択して適用する。

問18 プロジェクト管理においてパフォーマンス測定に使用する EVM の管理対象の組みはどれか。

ア コスト，スケジュール

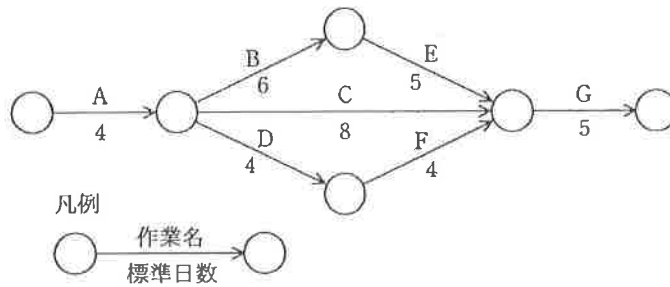
イ コスト，リスク

ウ スケジュール，品質

エ 品質，リスク

問19 図に示すとおりに作業を実施する予定であったが、作業 A で 1 日の遅れが生じた。

各作業の費用増加率を表の値とすると、当初の予定日数で終了するために掛かる増加費用を最も少なくするには、どの作業を短縮すべきか。ここで、費用増加率とは、作業を 1 日短縮するために要する増加費用のことである。



作業名	費用増加率
A	4
B	6
C	3
D	2
E	2.5
F	2.5
G	5

ア B

イ C

ウ D

エ E

問20 IT サービスマネジメントにおける問題管理プロセスにおいて実施することはどれか。

ア インシデントの発生後に暫定的にサービスを復旧させ、業務を継続できるようにする。

イ インシデントの発生後に未知の根本原因を特定し、恒久的な解決策を策定する。

ウ インシデントの発生に備えて、復旧のための設計をする。

エ インシデントの発生を記録し、関係する部署に状況を連絡する。

問21 システム監査人が、予備調査において実施する作業として、“システム監査基準”に照らして適切なものはどれか。

- ア 監査テーマに基づいて、監査項目を設定し、監査手続を策定し、個別監査計画書に記載する。
- イ 経営トップにヒアリングを行い、経営戦略・方針、現在抱えている問題についての認識を確認し、監査テーマを設定する。
- ウ 個別監査計画を策定するために、監査スケジュールについて被監査部門と調整を図る。
- エ 被監査部門から事前に入手した資料を閲覧し、監査対象の実態を明確に把握する。

問22 販売管理システムにおいて、起票された受注伝票が漏れなく、重複することなく入力されていることを確かめる監査手続のうち、適切なものはどれか。

- ア 受注データから値引取引データなどの例外取引データを抽出し、承認の記録を確かめる。
- イ 受注伝票の入力時に論理チェック及びフォーマットチェックが行われているか、テストデータ法で確かめる。
- ウ プルーフリストと受注伝票との照合が行われているか、プルーフリスト又は受注伝票上の照合印を確かめる。
- エ 並行シミュレーション法を用いて、受注伝票を処理するプログラムの論理の正当性を確かめる。

問23 “システム管理基準”によれば、情報戦略における情報システム全体の最適化目標を設定する際の留意事項はどれか。

- ア 開発、運用及び保守の費用の算出基礎を明確にすること
- イ 開発の規模、システム特性などを考慮して開発手順を決めておくこと
- ウ 経営戦略との整合性を考慮すること
- エ 必要な要員、予算、設備、期間などを確保すること

問24 情報システムの調達の際に作成される RFI の説明はどれか。

- ア 調達者から供給者候補に対して、システム化の目的や業務内容などを示し、情報の提供を依頼すること
- イ 調達者から供給者候補に対して、対象システムや調達条件などを示し、提案書の提出を依頼すること
- ウ 調達者から供給者に対して、契約内容で取り決めた内容に関して、変更を要請すること
- エ 調達者から供給者に対して、双方の役割分担などを確認し、契約の締結を要請すること

問25 環境省の環境表示ガイドラインによれば、環境表示の説明はどれか。

- ア 温室効果ガスを削減するために、企業や国が排出枠を決め、温室効果ガスが排出枠に届かない不足分と、排出枠に収まらない超過分を、企業や国が市場で取引することを明らかにしたもの
- イ 国や地方公共団体などの公的機関が、率先して環境物品（環境負荷の低減に資する製品やサービス）の調達を推進するなど、環境物品への需要の転換を促進するために必要な事項を規定したもの
- ウ 製品やサービスについて、環境に配慮した点や環境負荷の低減効果などの特徴、事業者の環境配慮への姿勢を、説明文やシンボルマーク、図表などを通して主張したもの
- エ 風力、太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーによって発電されたグリーン電力が、化石燃料に比較して温室効果ガスの排出量が少ないなどという環境付加価値を取引可能な証書にしたもの

問26 多角化戦略のうち、M&Aによる垂直統合に該当するものはどれか。

- ア 銀行による保険会社の買収・合併
- イ 自動車メーカーによる軽自動車メーカーの買収・合併
- ウ 製鉄メーカーによる鉄鋼石採掘会社の買収・合併
- エ 電機メーカーによる不動産会社の買収・合併

問27 現在の動向から未来を予測したり、システム分析に使用したりする手法であり、専門的知識や経験を有する複数の人にアンケート調査を行い、その結果を互いに参照した上で調査を繰り返して、集団としての意見を収束させる手法はどれか。

- | | |
|------------|-------------|
| ア 因果関係分析法 | イ クロスセクション法 |
| ウ 時系列回帰分析法 | エ デルファイ法 |

問28 かんばん方式の運用方法はどれか。

- ア 前工程が生産完了した後、生産量を記載したかんばんとともに部品を後工程に供給する。
- イ 前工程は後工程から回ってくるかんばんの指示量に備え、自工程の在庫を最小限に抑えながら生産しておく必要がある。
- ウ 前工程は後工程の引取り時期やかんばんの指示量が大きく変動しても、対応できる生産能力の余力をもつ必要がある。
- エ 前工程は故障などによる後工程への供給量不足に備え、平均故障時間で生産される部品の量を、かんばんの指示量に加算して、後工程に供給する。

問29 経営会議で来期の景気動向を議論したところ、景気は悪化する、横ばいである、好転するという三つの意見に完全に分かれてしまった。来期の投資計画について、積極的投資、継続的投資、消極的投資のいずれかに決定しなければならない。表の予想利益については意見が一致した。意思決定に関する記述のうち、適切なものはどれか。

予想利益（万円）		景気動向		
		悪化	横ばい	好転
投資計画	積極的投資	50	150	500
	継続的投資	100	200	300
	消極的投資	400	250	200

- ア 混合戦略に基づく最適意思決定は、積極的投資と消極的投資である。
- イ 純粋戦略に基づく最適意思決定は、積極的投資である。
- ウ マクシマックス原理に基づく最適意思決定は、継続的投資である。
- エ マクシミン原理に基づく最適意思決定は、消極的投資である。

問30 サイバーセキュリティ基本法において、サイバーセキュリティの対象として規定されている情報の説明はどれか。

- ア 外交，国家安全に関する機密情報に限られる。
- イ 公共機関で処理される対象の手書きの書類に限られる。
- ウ 個人の属性を含むプライバシー情報に限られる。
- エ 電磁的方式によって，記録，発信，伝送，受信される情報に限られる。

平成 27 年度 秋期 IT ストラテジスト試験
 システムアーキテクト試験
 ネットワークスペシャリスト試験 解答例
 情報セキュリティスペシャリスト試験
 IT サービスマネージャ試験

午前 I 試験

問番号	正解
問 1	エ
問 2	ア
問 3	エ
問 4	ウ
問 5	ウ
問 6	ア
問 7	エ
問 8	ウ
問 9	ウ
問 10	ウ

問番号	正解
問 11	エ
問 12	ウ
問 13	ア
問 14	イ
問 15	エ
問 16	エ
問 17	エ
問 18	ア
問 19	エ
問 20	イ

問番号	正解
問 21	エ
問 22	ウ
問 23	ウ
問 24	ア
問 25	ウ
問 26	ウ
問 27	エ
問 28	イ
問 29	エ
問 30	エ

2016年4月合格目標 高度共通午前Ⅰ対策 講義進度予定表

★講座内容の進捗については、進度により、変更が生じることもございます。予めご了承下さい。

★休憩は適宜10分程度とります。

内容	分野	使用テキスト
午前Ⅰ ①	AMⅠ試験の学習方法 コンピュータ科学基礎	高度共通午前Ⅰ対策 合格テキスト&トレーニング
午前Ⅰ ②	コンピュータシステム (ハードウェア, ソフトウェア, システム構成)	高度共通午前Ⅰ対策 合格テキスト&トレーニング
午前Ⅰ ③	技術要素(セキュリティ)	高度共通午前Ⅰ対策 合格テキスト&トレーニング
午前Ⅰ ④	技術要素(データベース, ネットワーク, 開発) 重要用語整理(マネジメント, 監査, ストラテジ)	高度共通午前Ⅰ対策 合格テキスト&トレーニング

※午前Ⅱ・午後Ⅰ以降の講義進度予定表につきましては、午前Ⅱ・午後Ⅰ第1回講義録に添付いたします。